# IT日本語

第10回 口頭発表の仕方

立命館大学 情報理工学部 李 亮

## プレゼンテーション(発表)とは

・「伝える」「上演する」という意味で、プレゼンテーションは単なる「説明」でなく、ある意味、聞き手へ向けて行う「自分の持つ情報を提供するためのパフォーマンス」



#### プレゼンの準備

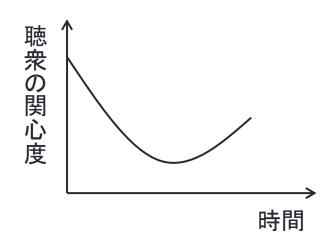
- 事前調査 Preliminary Survey
- ・シナリオの作成 Scenario
- スライドの作成 Presentation Slide
- 発表メモの作成 Presentation Memo
- ・リハーサル Rehearsal
- ・想定問答集の作成 Expected Q&A

### 事前調査

- ・ 聴衆の予備知識と興味
  - 人数
  - 会場のスタイル:フォーマル or インフォーマル
  - ・ セッション: 聴衆の予備知識、前後の発表
- 発表環境
  - 会場の広さ:スライドの字の大きさ
  - 会場の構造:プロジェクタの見易さ
  - ・ 発表設備:マイク、プロジェクタ、レーザーポインタ、接続端子
  - ・現地に行く前にある程度調査し、発表の前日に下見、同じ会場での 発表を聴講してみる
- プレゼンテーションは話し手主導である

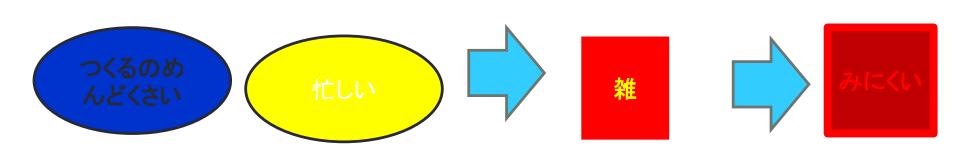
#### 発表シナリオの作成

- 考慮すべき点
  - 正確さ
  - 理解しやすさ
  - ・インパクト
- ・流れの基本は論文と同じ
  - 三段構成:序論1~2、本論7、結論1~2
  - 四段構成:序論、方法、論証 考察、結論
  - 結論先行型:聴衆の一番関心のあるところから始める
  - ・ポイント
    - 重要なところは先出し
    - まとめて再確認
    - 違い(従来研究と提案手法)を強調する



#### 悪いデザインの例

- あなたはもしかしてこんなスライド作ってませんか?
- 様々な要因によってスライドは見づらくなってしまう



見やすいデザインのためには、聴衆に対する気 づかいが<u>重要となります</u>

#### 悪いデザインの例し改善版

こんなスライド作ってませんか?



見やすいデザインのためには 聴衆に対する気づかいが重要 フォント

# 18ptlll

#### 和文と欧文

・和文と欧文フォントを使い分けよう

和文|メイリオ

欧文 | Segoe UI

#### 改行

- ・ 改行1つで読みやすさが大きく変わる
  - 単語の途中で改行を入れてしまうと、とても読みにくくなる
  - ・文章を聴衆が読みやすい位置で改行するのは、箇条書きの基本
  - 言い回しを工夫することで改行位置を調節しよう

#### 改行

- ・ 改行1つで読みやすさが大きく変わる
  - 単語の途中で改行を入れてしまうと、 とても読みにくくなる
  - ・文章を聴衆が読みやすい位置で改行するのは、 箇条書きの基本
  - 言い回しを工夫して、改行位置を調節しよう

極端に短い行を作らないように

言葉のかたまりを 意識して改行する

#### 色の選び方

- 色数はできるだけ少なく、色の使い方を統一する
- ・明度と彩度に注意しよう
  - 背景が明るいなら文字は暗くし、背景が暗いなら文字は明るくしよう
  - ・彩度は少し下げたほうが落ち着いた印象になる

 色の選び方
 高彩度
 低彩度

 色の選び方
 高彩度
 低彩度

 色の選び方
 高彩度
 低彩度

#### 発表メモとリハーサル

- 初めて発表する場合はできるだけ発表原稿を作成
- 発表原稿は「です・ます体」で短い文で
- 慣れていてもメモ程度は作成したほうが良い
- ・必ず暗記する(一字一句暗記することではない)
  - 原稿を読むと、一度目を離すとどこを話しているかが分からなくなる
  - 一字一句暗記すると、聴衆の反応に適応できない
  - 棒読みになってしまう
- ・リハーサルは3回以上行う
  - 時間配分や構成をチャックする
  - 覚えていたものを再確認する
  - 発表前日あるいは直前に、不安を解消するため

#### 想定問題集の作成

- 事前に質問への最適な回答を予め考えておく
- その質問があったとき、その場で答えを考える必要がない
- よくある質問への回答を準備しておく
  - ・研究の目的は
  - ・基本的考え方は
  - 既存方法との大きな違いは
  - ・具体的な応用は
  - ・など
- 質問には丁寧に答える。言いたいこと、反論したいことがあれば きちんと言う
- 誤りや考え違いであることが確認できれば、素直に「ご指摘有り難うございました。今後の参考にさせて頂きます」と言う

#### その他

- ・明快に大きな声で話す
- 背筋を伸ばし、前を向いて話す
- ・アイコンタクト
  - 聴衆を見ながら話す
  - 1点を見ずに、聴衆全体を見回す適度なスピードで
- スクリーンの指示
  - 聴衆がついていけるようにゆっくりと動かす
  - 指示点がふらつかないように
- スピーカから流れる自分の声をいつも意識する
- ・時間を守る